

モニタリング結果報告書 (令和3年度)

1. 施設概要

施設名	津久井やまゆり園		
所在地	相模原市緑区千木良476		
サイトURL	https://tsukui.kyoudoukai.jp/		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条第11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H27.4.1 ~ R5.3.31 (2015年) (2023年)	施設所管課	障害サービス課

※R3.8.1~R5.3.31までの期間は非公募により施設の管理運営を継続

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>利用状況C評価、利用者満足度B、収支状況C評価となったことから、3項目評価はCとした。</p> <p>利用状況(C評価)は、8月の新園舎の開所まで仮園舎での生活であったため、移転前の利用者以外の新規入所は受け入れていなかったことや、新型コロナウイルス感染症による新規入所に向けた体験利用の延期、短期入所や生活介護の受入中止等が影響している。</p> <p>収支状況(C評価)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、短期入所利用を断らざるを得ない状況が頻繁に生じたことが影響している。</p> <p>なお、令和元年度から、身体拘束を含めた利用者支援の実施状況及び改善状況等を確認するため、随時モニタリングを実施しており、その結果、より一層の改善が必要とされた事項(身体拘束の軽減又は廃止に向けた取組等)については、継続した指導を行っている。</p> <p>また、令和3年8月からの指定管理者の非公募選定時に提出された事業計画書を踏まえて、引き続き随時モニタリング等を通じて利用者支援の内容を確認するとともに、提案内容が着実に履行されるよう、必要な改善指導を行っていく。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 県と指定管理者の連携した取組により、8月1日に利用者が新園舎へ移転し、新園舎における円滑な運営開始につなげた。また、コロナ感染防止対策を行いながら、地域移行に向けて外部事業所等を体験利用する等、利用者が望む生活を実現するための支援に取り組んだ。</p> <p>さらに、身体拘束ゼロに向けて、統一的な対応を徹底するために身体拘束等行動制限取扱要領を改定したり、併せて行動制限判定会議を設置し、適正な検証・評価がなされるよう体制強化を図った。</p> <p>◆利用状況 8月の新園舎の開所まで仮園舎での生活であったため、移転前の利用者以外の新規入所は受け入れていなかったことや、新型コロナウイルス感染症による新規入所に向けた体験利用の延期、短期入所や生活介護の受入中止等が影響した結果、利用状況の評価は目標達成率63.5%となりC評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 令和3年度から新たに開始した利用者本人に対する満足度調査では、上位2項目(満足、どちらかといえば満足)の回答が66.7%だった。新型コロナウイルス感染症による外出制限により、利用者の余暇や帰宅が行えず、その不満によると考えられる自傷や他害、破壊行為等があったことから、そのような状況が反映されている可能性が考えられる。</p> <p>◆収支状況 10月から新園舎での短期入所の受入を開始したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、利用を断らざるを得ない状況が頻繁に生じた影響により、収支状況の評価はマイナス収支の縮減率-15.6%でC評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 電話が繋がらないことについての苦情が1件あった。</p> <p>◆事故・不祥事等 椅子からの転倒による骨折、てんかんの重積発作による救急搬送事例があった。事故報告については、電話での第一報を速やかに県に報告している。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 特になし</p> <p>◆その他 今後も、「当事者目線の障がい福祉」の考え方を踏まえた支援が実施されるよう、指定管理者との連携を継続していく。</p>

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
C	C	B	C	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	① 1月17日 ② 1月18日 ③ 1月19日	当事者目線の支援サポートチームによる集中モニタリングを実施した。 同園が主体的に「身体拘束の廃止」、「意思決定支援」、「地域生活移行」などに取り組もうとする姿勢を確認した。 また、指定管理者から提出された「再発防止策と取組経過報告書」の記載項目が履行されていることを確認し、一部の課題に対しては、改善指導を行った。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	① 11月2日 ② 1月7日	①新施設のユニット出入口の施錠について ②新施設のユニット出入口の施錠について
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
利用者本位の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援を通して、新津久井やまゆり園へ移行される利用者を中心に改めて決定事項の確認を行った。 ・コロナ感染防止対策を行いながら、地域移行を踏まえて、外部事業所等を体験利用する等、ご本人が望まれる生活を実現するための支援に取り組んだ。 ・法人全体で統一した対応が徹底されるよう身体拘束等行動制限取扱要領の改訂を進めた。また行動制限判定会議を設置し、適正な検証・評価を行う等、体制強化を図った。 ・意思決定支援に関しては、研修や法人セミナー等を通して、新たに津久井やまゆり園としての取り組みを行うとともに、普及や啓発に取り組んだ。 ・コンサルテーション事業の活用を推進し、統一した支援の取組や地域移行に向けての知識の共有を図った。(TAECCHIプログラムに基づく支援・事例に対するの対応方法・地域移行のイメージ作り等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響もあったが、外部事業所への見学等を積極的に行い、生活の幅が広がるよう取り組んだ。(見学・体験) 外部事業所2か所 利用者2名 10/25 10/27 11/2 12/8 ・職員の身体拘束に関する認識も高まり、身体拘束に頼らない支援構築に向けた検討がなされるようになり、具体的な解除に向けた取組みが進んだ。(身体拘束実施件数) 令和3年3月 1件 令和3年8月 0件 ・事例に関してのコンサルは、単発ではなく継続の必要を感じたため、今後の方法を検討していく。

<p>地域貢献と「ともに生きる社会」の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柳馬場自治会清掃活動や千木良地区防災訓練等に、利用者及び職員が参加し、地域貢献に努めた。 ・園に整備された交流ゾーンを活用し、地域住民へ施設開放に努めた。 ・相模湖地区社会福祉協議会による「ちょこっとボランティア相模湖」活動（住民相互の助けあい）に登録し、利用者の社会参加と地域住民に対する貢献に繋がる取り組みを行った。 ・相模原市のSDGsの取り組み「さがみはらSDGsパートナー」に登録申請を行い、3月に登録された。 ・SNSを活用し、園内及び鎮魂のモニュメントの様子等を発信し、「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発に努めた。 	<p>コロナ感染症拡大防止に努めながら、地域活動への参加を行い、規制が緩和されて以降は、積極的に取り組んでいる。利用者がボランティアとして社会参加できる機会を通し、地域の一員として活躍できるようにサポートしていく。</p>
<p>法人・園の安定的運営</p>	<p>8月1日に利用者41名の引っ越しを無事に終え、新津久井やまゆり園の運営を開始した。緊急事態宣言発令により、短期入所は10月より、生活介護（通所利用）は12月より本格稼働となった。</p>	<p>コロナ感染症の影響により、見学、短期、入所受け入れが延期になる等、順調には進められなかったが、入所数は徐々に増えている状況。</p>

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	37,446	35,281	22,404
対前年度比		94.2%	63.5%
目標値	41,724	41,610	28,488
目標達成率	89.7%	84.8%	78.6%

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり目標値の設定が困難であるため
入所定員×365日で設定（元年度は366日）

利用者数の算出方法（対象）： 施設入所者の延べ人数
（～R3年7月31日：定員114名／R3年8月1日～：定員60名）

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
 （※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

- ・新規入所に向けた体験利用（短期入所）の延期
- ・短期入所及び生活介護（通所者）の受入れ中止
- ・職員の感染又は濃厚接触者となった場合の勤務調整が困難

②令和3年度の対応状況

計画していた事業の中止・縮小や施設内の入念な清掃、来園者の体調チェックやアルコール消毒など、必要な感染症対策を行った。3月には1つの課でクラスターが発生したため、ゾーニングの徹底など感染拡大防止に努めた。

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
B	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	簡易調査、定期調査	令和3年度より、利用者本人に対する満足度調査を開始したため、前年度との比較はできないが、新型コロナウイルス感染症による外出制限により、利用者の余暇や帰宅が行えなかったことが影響している可能性がある。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 食事、睡眠、居室、日中活動、余暇、職員の対応状況等の満足度

実施した調査の配布方法 対面 回収数/配布数 48 / 48 = 100.0%

配布(サンプル)対象 施設入所者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	31	—	—	17	48	なし
回答率	64.6%			35.4%		
前年度の回答数						
前年度回答率						
回答率の対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響
 外出制限により利用者の余暇や帰宅が行えず、その不満によると考えられる自傷や他害、破壊行動等があったことから、そのような状況が反映されている可能性が考えられる。

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：マイナスの施設が該当 (収支差額の当初予算額－収支差額の決算額)／収支差額の当初予算額の比率（マイナス収支の縮減率）が S(優良)：5%以上 A(良好)：0%～5%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：-15%～0%未満 C(収支差額の決算額の削減額が当初予算の85%未満)：-15%未満
C	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	274,613	627,211	13,028	備考欄参照	914,852	970,564	-55,712	
	決算	274,613	625,575	39,390	備考欄参照	939,578	943,158	-3,580	93.57%
前年度	当初予算	293,064	604,229	15,888	備考欄参照	913,181	965,487	-52,306	
	決算	293,064	616,690	14,847	備考欄参照	924,601	910,344	14,257	127.26%
令和3年度	当初予算	332,086	459,471	29,616	備考欄参照	821,173	883,930	-62,757	
	決算	294,116	415,814	35,926	備考欄参照	745,856	818,405	-72,549	-15.60%

※収支差額の当初予算額－収支差額の決算額/収支差額の当初予算額

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和3年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>その他収入の主な内訳

○元年度

当初予算

・経常経費寄付金収入 545
・拠点区分繰入金収入 3,400
・その他の収入 9,083

決算

・経常経費寄付金収入 13,349
・積立資産取崩収入 8,634
・拠点区分繰入金収入 3,400
・その他の収入 14,007

○2年度

当初予算

・経常経費寄付金収入 545
・積立資産取崩収入 4,720
・その他の収入 10,623

決算

・経常経費寄付金収入 685
・積立資産取崩収入 3,103
・その他の収入 11,059

○3年度

当初予算

・経常経費寄付金収入 304
・積立資産取崩収入 21,394
・その他の収入 7,918

決算

・経常経費寄付金収入 1,284
・積立資産取崩収入 26,318
・その他の収入 8,324

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

令和3年8月より新施設に移転し10月より短期入所本格稼働としたものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、短期入所の利用を断らざるを得ない状況が頻繁に生じた。

②令和3年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	1	件	家族が代表電話に2回連絡するが、1回目は途中で切れてしまい、2回目は繋がらなかったことで、「電話が繋がらない」と不安や不満を抱かせてしまった。	生活課直通の番号をお伝えする。
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
1月16日	①7:30利用者が居室から出てきた際に足の痛みの訴えあり。夜間、居室上段の棚から荷物を取る際、椅子から転倒したとのこと。翌日午前通院で左足首骨折の診断。1月26日手術を受ける。 ②電話での第一報を受け、その後報告書により内容を確認した。 ③2月22日経過良好により退院。保管場所を本人がとりやすい位置に変更して怪我を未然に防げるよう環境を整えた。 ④無 ⑤無 ⑥無
2月26日	①てんかんによる重積発作により救急搬送されたのち、誤嚥性肺炎による入院加療が必要との事で入院。 ②電話での第一報を受け、その後報告書により内容を確認した。 ③入院による加療を継続。以前より重積発作が見られ、緊急搬送されることが多かったこともあり、事前に対応マニュアルを周知し対応した。 ④無 ⑤無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。